

1. 沿革

年月日	概	要
昭和23年 4月	「人類永遠の平和と健康のためこの殿堂を捧げる」という扁額とともに復興後援会（会長 花岡和夫氏）より建物220坪（727.28㎡）及び必要備品の寄贈を受ける。	
24年 4月	細菌検査所、衛生試験所を統合して、千葉県衛生研究所を設置、庶務課、細菌検査部、化学試験部、病理検査部を置く。	
25年 3月	薬品倉庫及び雑品庫建築。	
27年12月	乳肉検査室増築。	
28年 1月	動物飼料庫増築。	
28年10月	機構改訂、庶務課、細菌検査室、薬品食品室に改める。	
35年 4月	機構改訂、環境衛生室を新設。	
39年 2月	工事着工。	
39年10月	竣工。	
40年 7月	機構改訂、庶務課、細菌研究室、薬品食品研究室、環境衛生研究室に名称を改め、公害研究室を新設。	
40年 9月	庁舎管理移管、衛生研究所及び保健婦助産婦専門学院合同庁舎管理引継ぐ。	
41年 3月	薬品庫、動物飼育舎新築。	
41年 4月	機構改訂、庶務課を総務課に改める。	
41年 9月	機構改訂、ウイルス研究室を新設。	
42年 4月	公害研究所設立準備室を設置。（公害課内）	
43年 8月	公害研究所設置、大気汚染に関する業務を移掌。 機構改訂、公害研究所を水質汚濁研究室に改める。	
46年 5月	薬品食品研究室を医薬品研究室と食品化学研究室に改める。	
46年 8月	保健婦助産婦専門学院移転。	
47年 4月	水質保全研究所設置により水質汚濁に関する業務を移掌。	
47年12月	薬品貯蔵庫新築。	
50年 3月	千葉市仁戸名町666番地2号に新庁舎工事着工。	
51年 3月	新庁舎竣工。	
51年 4月	機構改訂、環境衛生研究室を生活環境研究室に名称を改め、環境保健研究室、医動物研究室、疫学調査研究室を新設し、1課8室となる。次長職設置。	
51年 5月	新庁舎（仁戸名）に移転。	
52年 3月	倉庫新設。	
52年 9月	敷地の一部（297.5㎡）を消防学校へ所属換えする。	
平成13年 4月	機構改訂、千葉県食品衛生検査所と統合。総務課、8研究室、2検査課となる。	
14年10月	機構改訂、旧血清研究所の一部業務を引継ぎ、生物学的製剤研究室を新設し、3課9室となる。	
15年 4月	機構改訂、疫学調査研究室を感染疫学研究室に名称を改め、健康疫学研究室を新設し、3課10室となる。	
16年 4月	機構改訂、環境保健研究室を廃止し、3課9室となる。	
17年 4月	機構改訂、生物学的製剤研究室を廃止し、3課8室となる。	
(検査課の年譜)		
昭和50年度	千葉県新総合5か年計画事業に「食品衛生監視体制の強化」が計画された。事業の一環として食品衛生検査所の設置が決定される。	
52年度	旧衛生研究所（千葉市神明町）の改修工事を行い、内外装及び施設工事を実施。	
53年 4月	千葉県食品衛生検査所として発足し、検査機材等の整備を図る。	
53年10月	試験検査業務を開始する。	
59年 4月	庶務業務は、中央食肉衛生検査所庶務課の兼務となり、庁舎の管理に関する公有財産は、同食肉衛生検査所の所管となる。	
平成13年 4月	食品衛生検査所の名称を廃し、衛生研究所に検査第一課、検査第二課として増課する。	